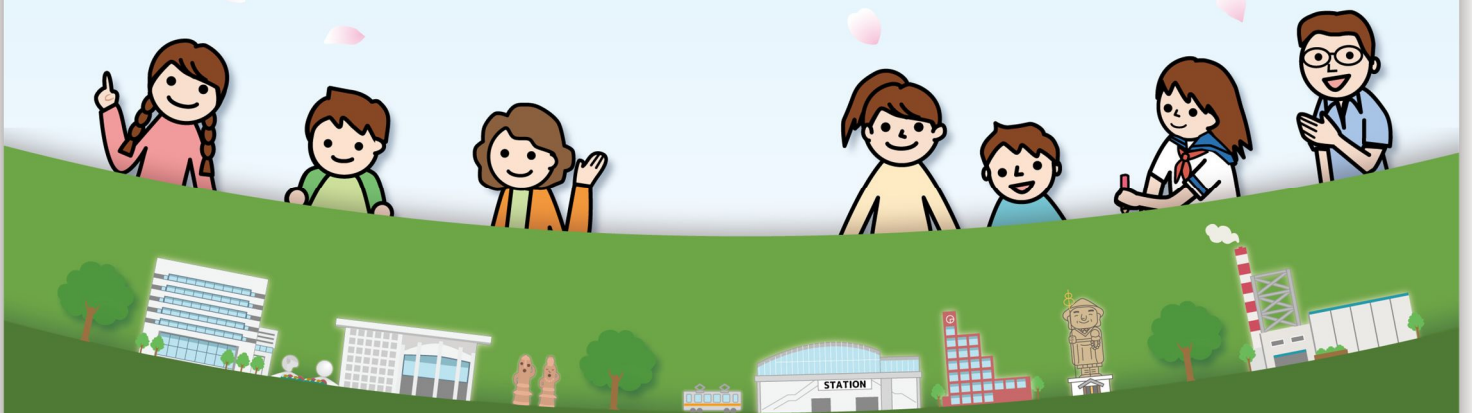


春日井市都市計画マスタープラン 地域懇談会

実施報告書



2019年4月

春日井市



<目次>

1. 地域懇談会の実施概要	…	1
2. 第1回地域懇談会の内容と結果	…	3
3. 第2回地域懇談会の内容と結果	…	5
4. 「地域別構想」の作成に向けて	…	7
5. おわりに	…	8

1. 地域懇談会の実施概要

実施目的

本市は、2019 年度に、まちづくりの新しい指針となる春日井市都市計画マスタープランの策定を目指しています。春日井市都市計画マスタープランは、本市の人口や土地利用の動向、公共施設の整備などについて将来の見通しや目標を明らかにし、将来のまちをどのようにしていきたいかを定める計画です。そのため、本計画の作成にあたっては、市民の皆さまのまちづくりに関するご意向を反映していくことが重要となります。

そこで、本市は、春日井市都市計画マスタープランの策定に向けて、市民の皆さまからお住まいの地域の現状や将来のまちづくりについてのご意向を把握することを目的に、平成 30 年 11 月～12 月に、『地域懇談会』を開催しました。

日程

地域懇談会は市内4会場にて各2回（計8回）開催しました。

【会場】

西部ふれあいセンター

【対象中学区】

味美・西部・知多

【日時】

第1回 11月10日(土) 午前10時00分～
第2回 12月15日(土) 午前10時00分～

【会場】

レディヤンかすがい

【対象中学区】

柏原・鷹来・中部

【日時】

第1回 11月17日(土) 午後1時30分～
第2回 12月16日(日) 午前10時00分～

【会場】

グリーンパレス春日井

【対象中学区】

東部・南城・松原

【日時】

第1回 11月17日(土) 午前10時00分～
第2回 12月16日(日) 午後1時30分～

【会場】

グルッポふじとう

【対象中学区】

坂下・高森台・石尾台・藤山台・岩成台
・高蔵寺

【日時】

第1回 11月10日(土) 午後1時30分～
第2回 12月15日(土) 午後1時30分～



参加者の構成

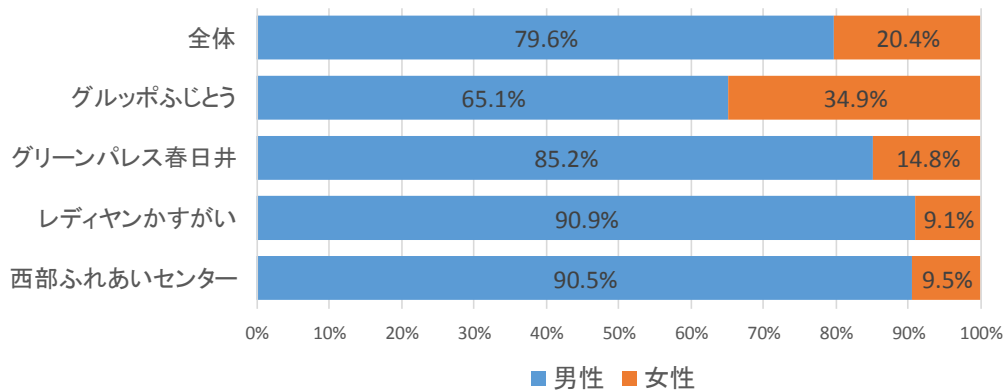
参加者数

各会場の参加者数は下表のとおりです。全会場で延べ 212 人の市民の皆さまにお集まりいただきました。

会場	開催日時	参加者数
西部ふれあいセンター	第1回 11月10日(土) 午前10時00分～	21人
	第2回 12月15日(土) 午前10時00分～	19人
レディヤンかすがい	第1回 11月17日(土) 午後1時30分～	22人
	第2回 12月16日(日) 午前10時00分～	21人
グリーンパレス春日井	第1回 11月17日(土) 午前10時00分～	27人
	第2回 12月16日(日) 午後1時30分～	23人
グルッポふじとう	第1回 11月10日(土) 午後1時30分～	43人
	第2回 12月15日(土) 午後1時30分～	36人
合計(延べ)		212人

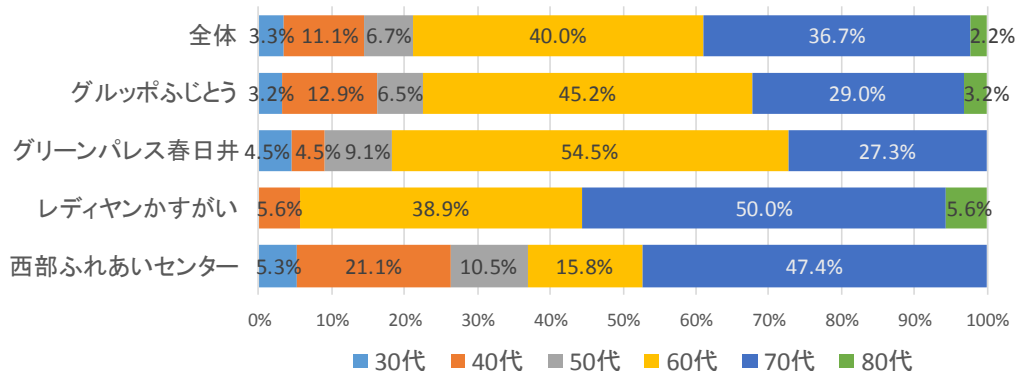
性別

男性は約8割、女性は約2割の方に参加いただきました。



年齢構成

60代～70代を中心に、30代、40代、50代の方々にも参加いただきました。



2. 第1回地域懇談会の内容と結果

実施内容

第1回地域懇談会では、都市計画マスタープランや春日井市の現状についてお話した後、中学校区ごとにグループに分かれて意見交換を行っていただきました。

意見交換では、まちづくりに関連する5つのキーワード「①住まいづくり」、「②移動環境づくり」、「③活力づくり」、「④魅力づくり」、「⑤安心・安全づくり」に関する地域の『強み・弱み』を参加者の方にそれぞれお考えいただき、同じ地域にお住まいの皆さまのご意見を共有していただきました。

プログラム

1. 地域懇談会について
2. 都市計画マスタープランについて
3. 春日井市の現状
4. 本日の意見交換について
5. 次回の地域懇談会について

意見交換のテーマ

まちの“イマ”を見つめよう
～地域の『強み・弱み』について～



5つのキーワード

意見交換の流れ



①中学校区ごとにグループを作りました



②5つのキーワードに関するご意見をふせんに書き込んでもらいました



③ふせんには、該当するキーワードのシールも貼り付けてもらいました



④お一人ずつ、ふせんに書いたご意見をグループの方に説明してもらいました



⑤皆さまのご意見を共有した後、さらに意見交換が行なわれました



⑥地域の『強み』と『弱み』を地図上に整理しました

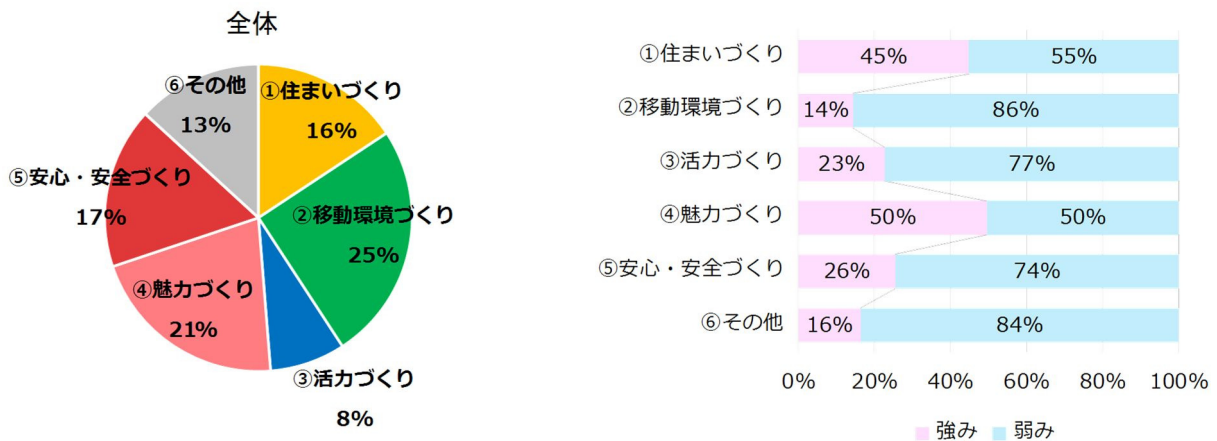
結果概要

5つのキーワードのなかで最も意見数が多かったのは、「②移動環境づくり」に関するご意見であり、『弱み』として感じている方の意見数の割合は86%と最も高い傾向にありました。具体的には、「渋滞・事故が多い」などの交通問題や「バスの本数が少ない」など公共交通の不便さに対するご意見が多い傾向にありました。

次いで意見数が多かったのは「④魅力づくり」です。『強み』と『弱み』の意見数の割合は半々であり、『強み』では、「自然が豊富」、「公園が多い」など、充実した緑を魅力と捉えているご意見が多く見受けられました。一方、『弱み』では、「鉄道駅周辺に魅力がない」、「特徴的な景観資源・観光資源がない」など、地域の魅力に関するご意見がありました。

その他、「①住まいづくり」に関するご意見では、静かな住環境を『強み』として実感している一方で、空き家・空き地の増加を『弱み』として問題視している傾向が見受けられました。「⑤安心・安全づくり」は、災害に強いと実感しているご意見がある一方で、災害時の避難体制や空き巣などの犯罪を心配するご意見がありました。「③活力づくり」では、商業や農業の衰退に対するご意見が多い結果となりました。

キーワード別の意見数の割合 キーワード別でみた「強み・弱み」の意見数の割合



「強み・弱み」に関するご意見の一例

	「強み」の意見	「弱み」の意見
① 住まいづくり	<ul style="list-style-type: none"> 交通の便がよく、住まいに適している スーパー、飲食店が多く住みやすい 工場が少ないから静か 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家、空き地が多い 高齢者の一人暮らしが多く、今後が心配 子どもたちの遊び場所が少ない
② 移動環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 高速道路が充実している 鉄道駅やインターがあり移動に便利 自由通路の整備によって駅が利用しやすくなった 老人会で送迎を行っている（買物、通院など） 	<ul style="list-style-type: none"> 渋滞、事故が多い（国道19号を中心に） 公共交通が不便（本数が少ない、乗り継ぎが悪い） 道路整備が進んでいない（道路が狭い） 坂が多く、車がないと生活できない
③ 活力づくり	<ul style="list-style-type: none"> 大都市に隣接し、ポテンシャルが高い 商業施設や医療施設があり、便利で安心 中部大学があり、学生が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 商業施設が少ない、減ってきた 高速道路の付近はもっと活用ができる 農業の担い手不足、農地の未活用
④ 魅力づくり	<ul style="list-style-type: none"> 美しい自然が多く、静かで落ち着いた気分になる 公園が多い、公園が広く美しい 子育ての環境がよい（近くに保育園があるなど） 地域行事が活発、町内にまとまりがある 	<ul style="list-style-type: none"> 特徴的な景観資源、観光資源がない 公園が非常に少ない 鉄道駅周辺に魅力がない 地域活動の担い手が不足している
⑤ 安心・安全づくり	<ul style="list-style-type: none"> 災害に強い 水の被害が少ない 地域住民の仲がよく、防犯意識が高い 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に集まる場所がない 道路が狭く、消防車等が入れない 空き巣、盗難が多い

3. 第2回地域懇談会の内容と結果

実施内容

第2回地域懇談会では、第1回の意見交換の結果のおさらいをした後、地域にとって『残すべきもの・変えるべきもの』をテーマとして意見交換を行っていただきました。また、『残すべきもの・変えるべきもの』のご意見を踏まえて、『地域でできること』についても意見交換を行っていただきました。そして、これまでのご意見を振り返りながら、それぞれの地域で『まちづくりのキーワード』を考えていただきました。

地域ごと意見交換の後には、会場全体で意見交換の結果を共有し合うため、各グループの代表者の方に発表を行っていただきました。

プログラム

1. 第1回地域懇談会の結果
2. 本日の意見交換について
3. グループ発表

意見交換のテーマ

まちの“ミライ”を見つめよう
～地域にとって『残すべきもの・変えるべきもの』について～



意見交換の流れ



① 第1回と同様に、中学校区ごとにグループを作りました



② 『残すべきもの・変えるべきもの』についてのご意見をふせんに書き込んでもらいました



③ お一人ずつ、ふせんに書いたご意見をグループの方に説明してもらいました



④ 『残すべきもの・変えるべきもの』のご意見を共有した後、『地域でできること』について考えてもらいました



⑤ これまでのご意見を振り返りながら、地域の『まちづくりのキーワード』を考えてもらいました



⑥ 最後に、各グループの代表者の方に発表していただき、会場全体で意見を共有しました

結果概要

『残すべきもの』については、「静かな住環境」、「子育てがしやすい環境」、「町内の伝統的な文化、活動」など、居住や生活環境に関するご意見が多い傾向にありました。また、自然や公園などの今ある緑を大切に残したいというご意見もありました。『変えるべきもの』については、「交通渋滞の改善」や「コミュニティバスの充実」など、第1回地域懇談会でも関心が高かった交通環境の改善や増加する空き家の対策に関するご意見が多く見受けられました。その他、公園や空き家など、今あるものを活用していくことが重要であるというご意見もありました。

『地域でできること』については、伝統行事の継承、地域イベントの計画、防災・防犯意識を高める取り組みなどのご意見がありました。また、それらの活動のために多世代交流や若者世代の育成に必要性を感じている声もありました。

グループごとに考えていただいた『まちづくりのキーワード』では、多くのグループで「住みやすい」という言葉が含まれる結果となりました。

「残すべきもの・変えるべきもの」、「地域でできること」に関する意見の一例

「残すべきもの」

- ・騒音がない静かな住環境
- ・子育てがしやすい環境
- ・町内の伝統的な文化、活動
- ・地域のつながり
- ・自然環境を守りたい
- ・公園のある町
- ・農業、農地を守りたい

「変えるべきもの」

- ・交通渋滞の改善
- ・コミュニティバスの充実
- ・電車とバスの接続改善
- ・公園の有効活用
- ・空き家が多くなっている
- ・空き家の活用
- ・町内会のあり方、連携意識

「地域でできること」

- ・地域のよさを伝えていく
- ・手間のかからないイベント作り
- ・空き家の見守り
- ・地域全体で防災について考える
- ・見回り散歩
- ・世代を超えたコミュニケーション
- ・若い世代の育成

グループ別の「まちづくりのキーワード」

中学校区	まちづくりのキーワード
味 美	交通の便が良い+町内会の活性化=住みやすいまち
西 部	共有と交流
知 多	公園多く住みやすい
柏 原	住環境の維持
鷹 来	明るく・住みやすい・やさしいまち -自然・地域のイベント・清潔感・子育てしやすい-
中 部	駅周辺・コミュニティ・防災・インフラ
東 部	歴史を大切に！ 交通利便性を高くする！ 商店街を活性化する！
南 城	インフラ整備（交通アクセス）・中部大との共存
松 原	住みやすい環境の維持
坂 下	企業誘致と自然のバランス
高 森 台	全世代交流・住みよい街
石 尾 台	
藤 山 台	緑を大切にした地域コミュニティの強いまちづくり
岩 成 台	大切な自然を残しながら高蔵寺を変革させていこう！！
高 蔵 寺	住みやすいまち

4. 「地域別構想」の作成に向けて

春日井市都市計画マスタープランでは、市域全体を対象とした「全体構想」とあわせて、地域の資源や特性を踏まえて「地域別構想」を作成します。

そこで、「地域別構想」の作成に向けて、本市を生活圏の重要な要素となる鉄道駅等を拠点に7つの地域に分類し、皆さまのご意見を参考に各地域の「将来の方向性」をまとめました。

今後は皆さまのご意見やこれらの「将来の方向性」をもとに、各地域における「まちづくりの方針」について検討を進めます。

7つの地域の「将来の方向性」

①JR 勝川駅・名鉄味美駅周辺エリア

参考にした中学校区：味美、知多、中部

- JR勝川駅や名鉄味美駅などの鉄道駅は、地域の皆が利用する重要な拠点であるため、魅力的で便利な場所になってほしい
- 神社や公園など、地域が誇る資源を活かした地域の交流が続き、住みやすい生活環境が続いている街になってほしい
- 通学路の安全対策や街路灯の設置など、安全に歩ける歩行空間を整えてほしい

②名鉄春日井駅周辺エリア

参考にした中学校区：西部、鷹来

- 名鉄春日井駅などの鉄道駅は、地域の皆が利用する重要な拠点であるため、安全で安心して利用できる場所になってほしい
- 子どもやお年寄りなど、自動車に乗れない人でもバスなどで移動できる便利な交通環境が整っている街になってほしい
- 農地や公園などの身近に感じられる緑や、地域に根づく伝統・文化を重んじ、それら資源を活用して交流が盛んな街になってほしい

③JR 春日井駅・市役所周辺エリア

参考にした中学校区：中部、柏原、東部、松原

- JR春日井駅は、多くの人々が行き交う中心的な拠点であるため、魅力的で回遊したくなる場所になってほしい
- 一部の地域では、空き地・空き家が増加しているため、まちづくりと一体的な活用を図ることで、地域に新たな魅力をつくっていききたい
- 庄内川や内津川、八田川などの河川沿い地域は、基盤整備により防災対策を進めるほか、住民の防災意識を高める取組みを進めたい

④JR 神領駅・中部大学周辺エリア

参考にした中学校区：南城

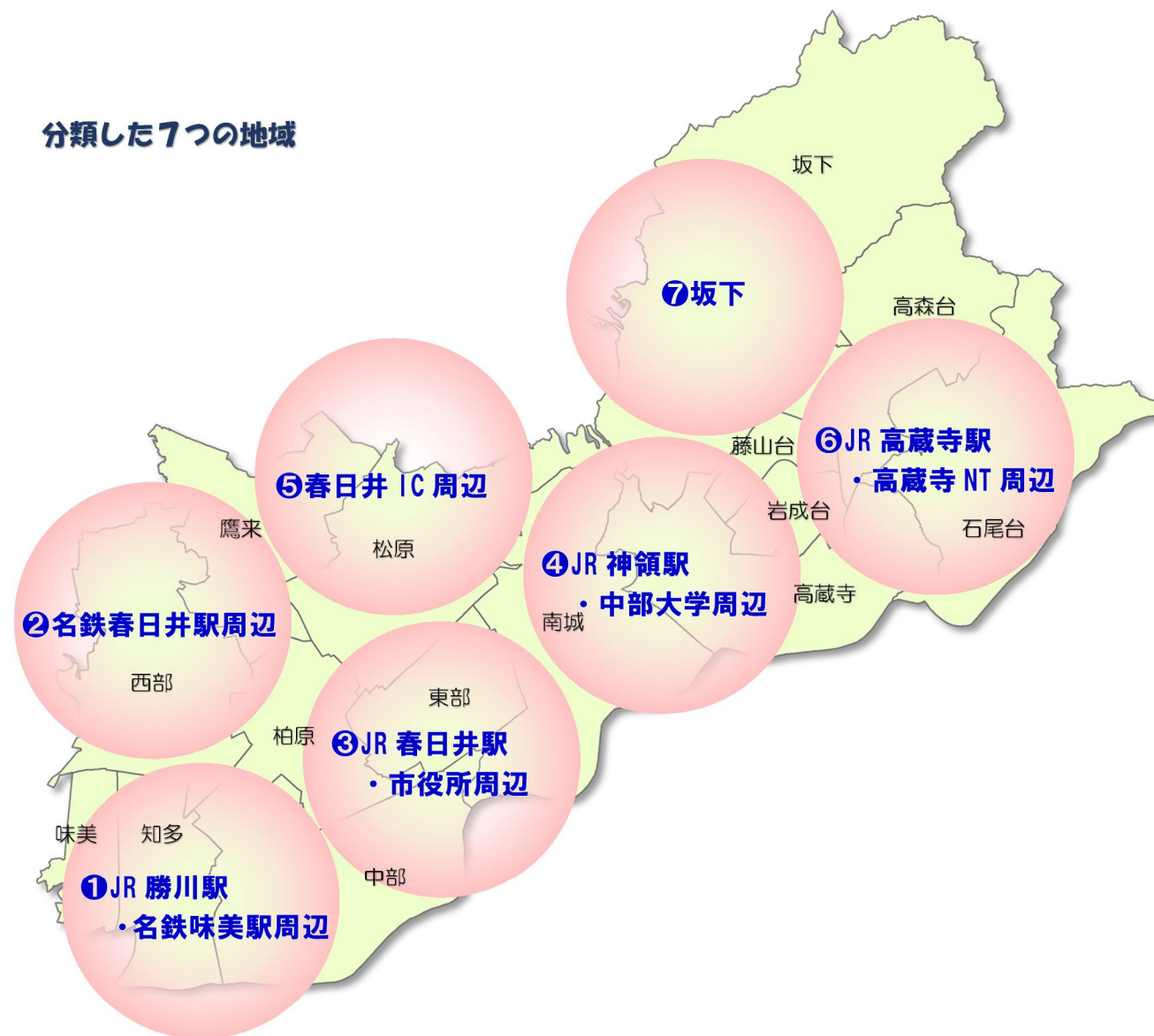
- 地域内に中部大学が立地している強みを活かし、地域住民と学生が助け合いながら共生できる、活気あふれる住宅地になってほしい
- 川沿いの親水空間や緑道などの身近に感じられる自然は、良好な住環境を形成している重要な要素となっているため、しっかり保全していくべき
- 通学路や公園の安全性を高めるなど、子育て世代が安心して暮らせる環境を築いていきたい

⑦坂下エリア

参考にした中学校区：坂下

- 最寄りの駅であるJR高蔵寺駅や病院などへ行き来できるコミュニティバスの運行が充実した地域になってほしい
- 地域に広がる農地は、誇れる資源として有効に活用し続けられるよう、担い手の確保や、地域で守っていく取組みを進めていきたい
- 神社や神事など、地域が誇る伝統文化は、地域のコミュニティ維持にもつながるため、行政との協働により守っていききたい

分類した7つの地域



⑤春日井 IC 周辺

参考にした中学校区：松原、南城

- 身近に広がる農地やふれあい緑道などの自然豊かな環境は、この地域の誇れる資源として守っていききたい
- 一般国道 155 号をはじめ、日常的に渋滞する幹線道路の交通円滑化を図り、安全で快適な交通環境を整えてほしい
- 高齢化が進むなか、自動車に乗れない住民でも安心して鉄道駅や主な施設まで行き来できる交通手段が確保された街になってほしい

⑥JR 高蔵寺駅・高蔵寺ニュータウン周辺エリア

参考にした中学校区：高蔵寺、藤山台、岩成台、石尾台、高森台

- 緑が豊かで公園も多く、自然が身近に感じられる環境は、次世代へ向けて守り受け継いでいくべき本地域の資源だと思う
- 今後増加が懸念される空き地や空き家は、地域のコミュニティを創出する場として転換を図りたい
- JR 高蔵寺駅周辺の活性化を図るとともに、バスの拡充や自転車道の整備など交通環境が整った街になってほしい

5. おわりに

地域懇談会をふり返って

今回開催した地域懇談会では、延べ 212 人の方にご参加いただき、皆さまにはお住まいの地域を舞台として意見交換を行っていただきました。その結果、地域ならではの現状やまちの将来イメージのほか、地域を跨いで共通する問題点や課題点などを把握することができ、春日井市都市計画マスタープランの策定に向けて、参考となるご意見をたくさんいただくことができました。

また、今回の地域懇談会は、市役所の若手職員が各グループの進行役（ファシリテーター）として参加させていただきました。参加した職員は、市民の皆さまと本市のまちづくりについて直接お話ができる機会となり、とても貴重な時間を過ごすことができました。

ご参加いただいた市民の皆さまにとっても、今回の地域懇談会が今後の地域交流のきっかけになれば幸いです。ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

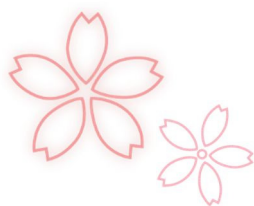


今後の予定

皆さまからいただきました貴重なご意見を踏まえて、春日井市都市計画マスタープランにおける「地域別構想」の検討を進めてまいります。2019 年度の秋頃には、市民の皆さまに対して春日井市都市計画マスタープラン（中間案）を公表し、市民の皆さまからご意見をいただきながら、2019 年度末の計画策定を目指します。



春日井市都市計画マスタープラン地域懇談会 実施報告書



発行：春日井市

編集：まちづくり推進部都市政策課

〒 486-8686 愛知県春日井市烏居松町 5-44

電話 0568-81-5111 (代表)

発行日：2019 年 4 月

